



地山変位計 / 水平変位計

■地山変位計

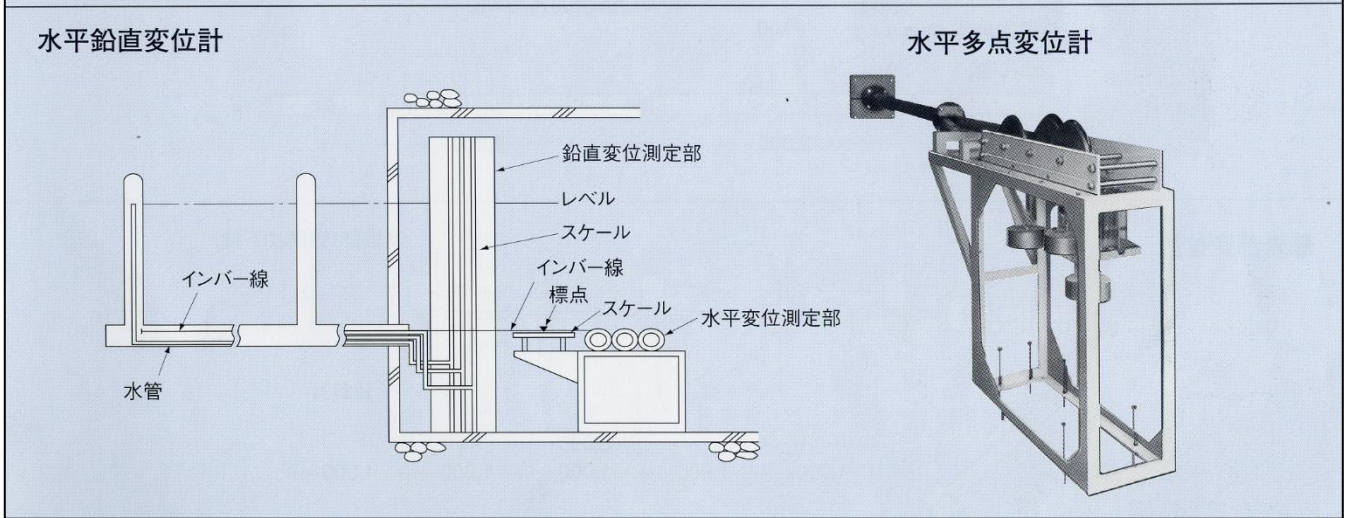
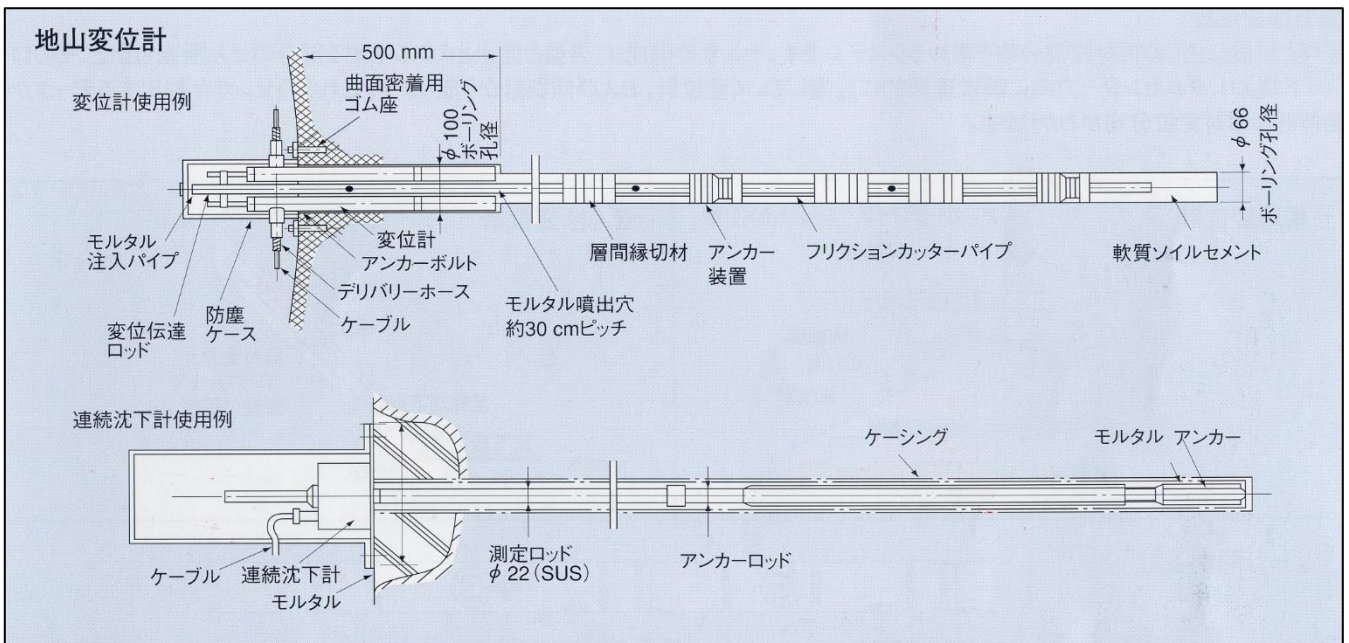
岩盤の変形を測定する計器です。表面からの影響を受けない地点までボーリングを行い、その地点にロッドの一端を固定します。そして岩盤表面に変位計を設置し、表面と固定点の相対的な動きを測定します。センサ部には、変位計、連続沈下計、移動計のほか、ダイヤルケージなど、機械式の測定器も利用できます。

■水平鉛直変位計

提体内の水平、鉛直方向の変位測定器。提体内から提体の外までインバー線、および水管(連通管)を通し、この管に沿った測定点に検出部を埋設します。そして水平変位をインバー線の移動により、鉛直変位を連通管方式の水位の変化によって測定します。

■水平多点相対変位計

水平鉛直変位計の水平方向の測定方式と同様の検出方法です。変位量は、施工中は変動が大きいため直接スケールで読み、水没後は電気信号に変換して読み取ります。



名 称	水平鉛直変位計
測 定 範 囲	水平 300m 鉛直 0~1800mm
分 解 能	水平 1mm (スケール目盛) 鉛直 5mm 以下 (マノメータ最小目盛)

名 称	地山変位計
※センサ部仕様は、変位計 EDL-5000WG 連続沈下計 ESD-7000 地盤沈下計 ELS-7000	

名 称	水平多点相対変位計
※仕様は水平鉛直変位計の水平部を参照してください。	